

平成20年1月25日

福岡空港調査連絡調整会議 御中

福岡空港調査P I有識者委員会  
委員長 石田東生

福岡空港の総合的な調査に係るP I（ステップ3）の実施結果  
に関する評価等について

福岡空港の総合的な調査に係るP I（ステップ3）の実施結果について、平成20年1月21日に当委員会を開催し、平成20年1月18日に提出された「福岡空港の総合的な調査に係るP I（ステップ3）実施報告書」及び当委員会が行った実施状況把握に基づき、下記の通り評価及び助言を行うことを決定したので通知します。

記

1 評価

P I活動の実施については、P I実施計画（ステップ3）に則って、適正な時間管理のもと中立・公正に、十分な周知広報の実施、多様で適切なP I手法の選定、わかりやすい情報の提供、及び収集した意見とそれに対する考え方を公表したものと認められることから、適切なものであったと評価します。

また、情報が市民等に十分に提供され、市民等から幅広く意見が収集されたと考えられるため、P I（ステップ3）の当初の目標は達成されたと評価します。

2 助言

1) 周知広報については、その目的に応じてより効果が得られるような時期や媒体を検討すること

2) P I手法については、継続的に実施してきた催しの改善や新たな試みにより市民相互のコミュニケーションの実現など成果があったと認められるが、空港の利用特性を考慮しつつ、市民等からより多くの意見を収集できるよう今後とも多様で適切なP I手法の選定に努めること

3) 市民等からの意見については、過去のステップに比べ意見の収集状況が良好になってきたことが認められるが、さらに多くの市民等から意見を収集できるよう努めること

また、市民等へのP Iの浸透に努めるとともに、その状況を勘案しながらP Iの実施をすること

4) 収集した意見のうちP Iに反映したものについては、そのことが分かるよう情報提供を行うこと

また、寄せられたご意見に対する福岡空港調査連絡調整会議としての考え方を整理する際は、市民等へ誤解を与えることがないように配慮すること

\*添付資料

- ・P I実施状況把握活動報告